

元機能物質科学研究所教授 西田 正先生の死を悼む

竹下, 齊
九州大学機能物質科学研究所

<https://doi.org/10.15017/6542>

出版情報 : 九州大学機能物質科学研究所報告. 2 (2), pp. A1-A1, 1988-12-28. 九州大学機能物質科学研究所

バージョン :

権利関係 :



略 歴 書

大正15年 5月	長崎県に生まれる
昭和23年 3月	佐賀高等学校（旧制）理科卒業
26年 3月	九州大学工学部採鉱科卒業
31年 3月	九州大学大学院（後期）終了
32年 8月	九州大学工学部研究生
32年 9月	九州大学助教授（生産科学研究所）
37年 2月	工学博士（九州大学） 学位論文題名「石炭採掘による地表沈下現象の研究」
48年 9月	九州大学教授（生産科学研究所）
54年 4月	九州大学生産科学研究所附属九重地熱資源開発実験所長
56年 4月	九州大学生産科学研究所附属九重地熱資源開発実験所長
57年 4月	九州大学生産科学研究所附属地熱開発センター長事務取扱
57年 7月	九州大学生産科学研究所附属地熱開発センター長
62年 5月	九州大学教授（機能物質科学研究所に配置換）
63年 4月	九州大学教授（工学部附属環境システム工学研究センターに配置換）
63年 9月	病気により死亡

元機能物質科学研究所教授 西田 正先生の死を悼む

九州大学機能物質科学研究所長

竹 下 齊

九州大学工学部教授、西田 正先生の訃報に接し、まことに痛惜にたえず、本研究所員一同を代表してここに謹んで弔意を表します。

西田先生は昭和26年九州大学工学部採鉱学科を卒業後、大学院特研究生を経て昭和32年九州大学生産科学研究所に助教授として赴任され、昭和48年教授に昇任されました。本年4月工学部に環境システム工学研究センターが設置されるに伴って転任される迄の31年間の永きに亘って終始、生産科学研究所・機能物質科学研究所の発展の為に献身されました。その間、多くの門下生を育成されました。先生が直接、間接に教育、指導された学生、研究者、および現場技術者は、多数にのぼっています。

学内活動としては、多くの諸委員会の委員をされましたが、生産科学研究所においては附属九重地熱資源開発実験所長、地熱開発センター長を務められました。また昭和61年九大に開設された石炭資源開発利用の国際集団研修コースの初代コースリーダーとして、大学の国際化に貢献されたことは記憶に新しいところです。

先生のご専門は、資源工学および地盤工学でありましたが、特に石炭、金属鉱石および天然ガス等の地下資源採取に起因する地盤沈下現象を、わが国において初めて系統的に研究され、沈下の理論的予測計算法を完成されました。この計算法は西田式計算法として有名であり、数多くの現場に適用され、その実用性が確認された結果、採掘の認可、環境保全、鉱害の復旧などの技術規範として行政および鉱山会社等において常用されています。従って、学外においても鉱害の認否、鉱害紛争などの行政上、社会上の問題の解決にも各種専門委員として公平かつ説得力ある技術的評価、裁定を行なって、多大の貢献をされました。まさに、生産科学研究所の資源部門を代表する教授でありました。

これらの研究や経験をさらに発展させるべく、工学部附属環境システム工学研究センターの地盤環境システム部門に移られたばかりでありましたが、本年9月1日、にわかに不帰の客となられました。

本研究所は、先生のご業績を記念すると共に、ご指導に感謝する為に、本所報にご遺影を掲載し、衷心からご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

昭和63年12月